

2026年度 西京極総合防災訓練

- ・取り組み内容のまとめ
 - ・アンケート結果の解析
-

2026年6月5日
西京極自主防災会(自治会連合会)
会長 林克己
総務統括 井ノ口哲也

目次

- (1) 西京極自主防災会プロジェクト
- (2) 2026年度西京極総合防災訓練の開催概要
- (3) 当日訓練プログラム/会場レイアウト
- (4) 取り組み訓練内容
- (5) アンケート解析結果①(防災訓練全体を通して)
- (6) アンケート解析結果②(みんなで取り組み考えるコーナー)
- (7) 本報告書に関するお問い合わせ先

(1) 西京極自主防災会プロジェクト

- キャッチボールから始める防災チーム
- 小さな意見が災害時の防波堤
- みんなで考える災害時対策
- 助ける人、助けられる人も減災知識を
- みんなで作る災害時スタンプ
- 参加者に伝わり、町内に持ち帰る訓練

各町参加型の訓練にする！

(主催者からの一方通行ではなく参加者と共に考える訓練)

(2) 2026年度西京極総合防災訓練の開催概要

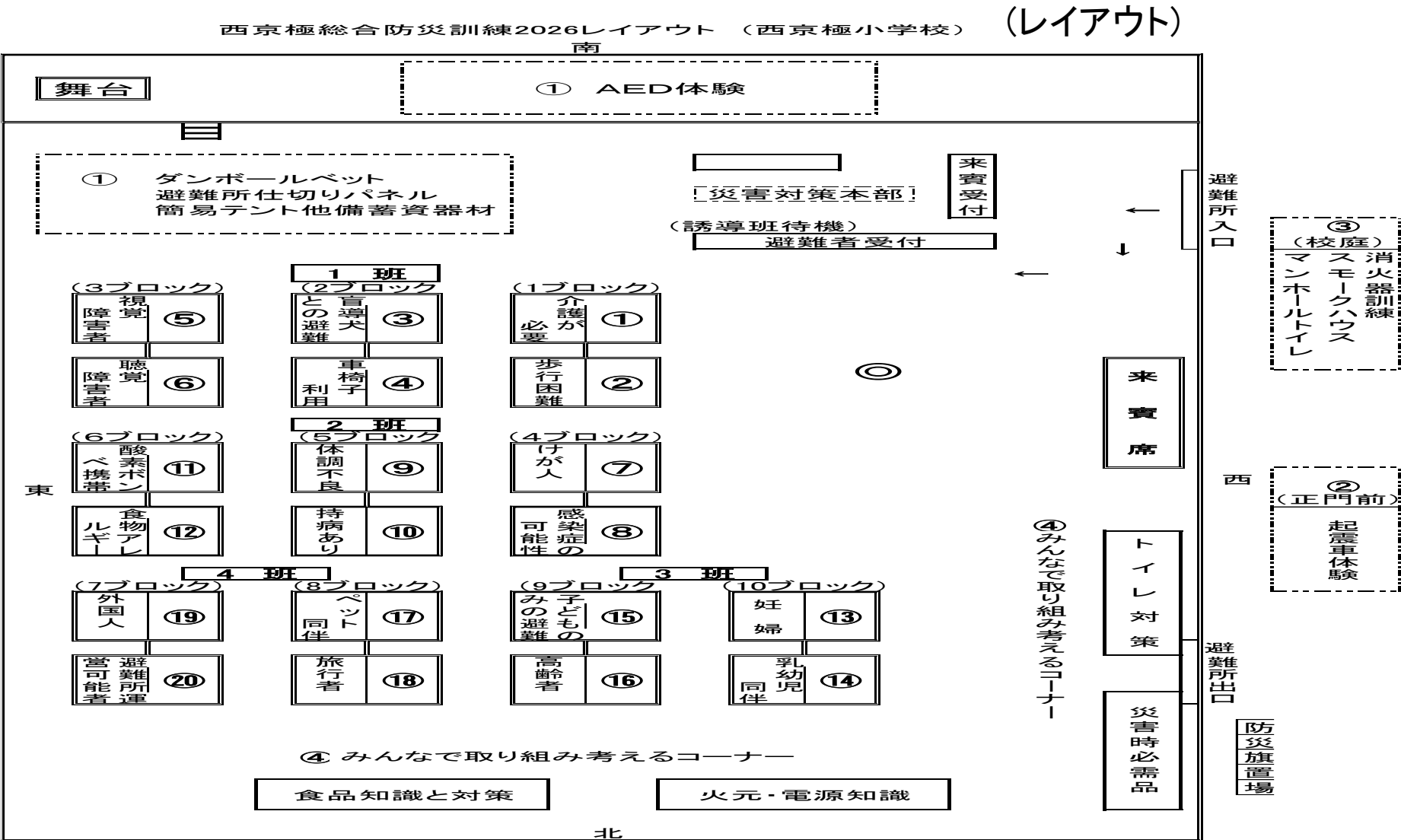
- 開催日 : 2026年5月31日(日)8時30分から12時30分
- 開催場所: 京都市立西京極小学校 体育館/校庭
- 参加者: 合計196名
 - 町参加 : 158名(参加町38町)
 - 来賓者 : 15名
 - 消防団 : 5名
 - 自主防災 : 18名

(3) 当日訓練プログラム/会場レイアウト

(プログラム)

- ①AED体験/ダンボールベット/簡易テント/仕切りパネル体験
- ②起震車体験
- ③スモークハウス ・消火器体験 ・マンホールトイレ
- ④みんなで取り組み考える災害時対策
 - ・災害時の食材簡易調理法、ローリングストック商材、冷蔵冷凍食品の対応
 - ・寒暖対応、火元、電源対応、カセットコンロの活用
 - ・災害時自宅/身近にあるものの活用提案(トイレ、ペットシートの活用、災害時必需品)
 - ・災害時にそなえる防災用品 (防災バッグ＋災害時必需品)

(3) 当日訓練プログラム/会場レイアウト



班分けの20項目の分類は、防災士:太田興先生の取り組みを参考にさせていただき、西京極オリジナルの分類をいたしました。

(4) 取り組み訓練内容（掲示/展示品①）

『西京極自主防災会 個人行動マップ発信』

自主防災は 自治会・町内会活動です

『西京極自主防災活動は、皆様方から徴収した
自治会費で運営されています』

自治会・町内会は、まちと人を守っています
ご近所の絆で安心・快適なまちに

自治会未加入者への参加促進をお願いします。

西京極自治会連合会 ・ 各町内会

地震 ・ 台風 ・ 洪水などの自然災害をはじめ、火災・盗難・交通事故など
身近なところに災害や災難は潜んでいます。

何らかの事件や事故に遭遇したときに頼りになるのは身近な町内の人々や
自治連合会の諸団体の制度です。‘いざ、と伝うとき、みんなの協力と手助けを
「する人・される人」になっていただく「町内会」活動に理解をいただきご協力を
お願いいたします。

（地震災害への備え）

「自分の命」 「自分の財産（家族）」は自分で守る

○家の中で一番安全性が高い場所を事前に確認

「一般的に玄関口が安全性が高いと言われています（建築形状を確認のこと）」

※救援を要する場合も玄関口が発見しやすい傾向にあります。

○家族が別々の場所で連絡が取れない場合を想定し集合場所、連絡方法等の
申し合わせをしておく。

大きな地震が発生しても、地域避難所は自主防災会役員が開設します、被害
状況により避難所開設が2～3日以上かかることが想定されます。

《西京極自主防災会 水害避難者申合せ事項》

〔水害〕 「水害予測による、避難勧告、避難指示に伴う避難所避難の認識」

①第一避難準備者としては、川の氾濫により家屋が流される可能性のある住民。
（築50年以上の木造家屋）

②第二避難準備者としては、川の氾濫等により、床上以上の浸水が予測される
平屋家屋の住民。（右京区水害マップ参照）

※第一避難場所は近隣学校の体育館を基本として開設しますが、氾濫、浸水
状況により校舎二階以上への避難とします。

（地域対応として近隣マンション等との連携）

「地域環境、居住環境を認識し、安全性を考慮した非難」

①避難勧告・避難指示発令に伴い各町防災部は上層階避難の呼掛けと同時に
要避難住民への避難所開設情報を伝える。（自治連、自主防発信）

②マンション等高層住宅については、二階以上の避難体制を構築する。
（近隣住民の避難者受入体制を視野に入れた対応）

「西京極避難優先地域の設定と避難所開設」

①天神川西を第一避難対象地域とし、行政からの避難勧告情報（公式発令前）
により避難所（西京極西小学校）を開設する。

②天神川東を第二避難対象地域とし、避難勧告公式発令後に避難所（西京極
中学校、小学校）を開設する。

〔避難所〕 「避難所開設に伴う申合せ事項」

①災害予測による避難者は避難から約8時間の飲食物を避難者各自が持参対応する。

②避難者は自ら避難所開設の協力を行う。

③各町防災部は避難者、避難拒否者を把握し連絡網に基づいた連絡先に報告する。

(4) 取り組み訓練内容（掲示/展示品②）

《命に関わるトイレ環境》

使えない（使いにくい・汚い・遠い・寒い）



トイレの利用を控えてしまう



トイレ回数を減るよう食事・水分を控える



脱水症状・血液粘度上昇・低体温



心筋梗塞・脳梗塞など重大疾病

避難所に「お客さん」はいない

避難所運営は地域住民の仕事

円滑な運営に知識を出し合いましょう

災害が発生してから文句を言うより

今のうちの意見を出し合い

「住民主体の避難所」を目指しましょう

《在宅避難》

（良い点）

・住み慣れた場所で安心

・プライバシー確保

・自分で決める生活リズム

・ペットも過ごせる

（問題点）

・室内の安全確保

・備蓄品などの事前準備

・トイレの使用不可

・情報入手が困難

(4) 取り組み訓練内容（掲示/展示品③）

《自主防災会が選んだ災害時必需品》

- バウル
 - カセットコンロ
（カセットボンベ6本）
 - 懐中電灯（電池予備含む）
 - 携帯電話、ラジオ（充電器）
 - ゴミ袋（ビニール袋、レジ袋）
 - スリッパ（底厚）
 - 笛
 - 水・塩
 - あめ・チョコレート・羊羹
 - 梅干し
- （皆様のご提案お願いします。）
-

(4) 取り組み訓練内容（掲示/展示品④）

《各町防災用品準備資器材》

【救出・救護・運搬器材】

	準備目安
バ ー ル	10件/1
ハンマー	10件/1
剣先スコップ	10件/1
つるはし	20件/1
ジャッキ	30件/1
担 架	30件/1
リヤカー	50件/1
三 角 巾	世帯数

【備蓄資材】

	準備目安
アルファ化米	各自世帯数
飲 料 水	各自世帯数
給 水 袋	30件/1

【炊き出し用器材】

	準備目安
バーベキューコンロ	20件/1
ガスコンロ	50件/1
プロパンガス	50件/1
カセットコンロ	20件/1
寸 同 鍋	50件/1
柄 杓	20件/1
紙皿・コップ	世帯数

【生活資器材】

	準備目安
発 電 機	100件/1
投 光 器	30件/1
コードリール	50件/1
簡 易 テント	30件/1
ブルーシート	30件/1
コ ン パ ネ	10件/1
簡 易 トイレ	50件/1

【その他防災用資器材】

ヘルメット	長テーブル(コンパネ)	浄水器
ロ ー プ	救 急 セット	大 鍋
工 具 セット	テ ン ト	調理器具一式
台 車	消 火 器	物 干 竿
エンジンカッター	バ ケ ッ	タ オ ル
番線カッター	給水ポンプ	トイレトペーパー

(5) アンケート解析結果① (防災訓練全体を通して)

2026 防災訓練アンケート

防災訓練への参加お疲れさまです。

「災害への備えをみんなで取り組み考える」ためのアンケートにご協力をお願いします。未知の災害に備えるため、みなさんの考えをお聞かせください。アンケートの結果は、自治会連合会ホームページで公開予定です。

1 あなたがもしも だったら、避難所に行く道中や

避難所に着いてからどのような問題や課題があると思いますか？

2 今日の防災訓練の取組みで、心に残ったことがあれば教えてください。

3 あなたは、災害に備えてなにか準備をしていますか？

4 あなたは、災害が起きた時、避難所に避難したいと思っていますか？

We love 西京極！ 西京極自治会連合会

2026 西京極 防災訓練アンケート

詳細集計レポート

41 件 総回答数	20 種類 想定された状況	78 % 在宅志向合計	15 件 簡易トイレ備蓄済	14 件 AED体験を高評価
-----------------	---------------------	-------------------	---------------------	----------------------

調査概要: 西京極防災訓練 2026年6月実施 参加者手書きアンケート n=41件 4設問 想定①~④の状況カードを引いて「その立場での課題」を考える参加型アンケート 主な発見:
実体験型コンテンツへの高評価 / 在宅避難志向78% / 簡易トイレ意識の向上が主な発見

西京極自治会連合会

(アンケート回答例)

2026 防災訓練アンケート

防災訓練への参加お疲れさまです。
「災害への備えをみんなで取り組み考える」ためのアンケートにご協力をお願いし
ます。未知の災害に備えるため、みなさんの考えをお聞かせください。アンケート
の結果は、自治会連合会ホームページで公開予定です。

1 あなたがもしも ② 歩行困難 だったら、避難所に行く道中や
避難所に着いてからどのような問題や課題があると思いますか？
まずは、自分自身で、避難するように心がけたい。

2 今日の防災訓練の取組みで、心に残ったことがあれば教えてください。
起震車、トイレ

3 あなたは、災害に備えてなにか準備をしていますか？
簡易トイレ、飲料水、缶詰、非常食

4 あなたは、災害が起きた時、避難所に避難したいと思っていますか？
なるべく在宅で続けたい。

We love 西京極！ 西京極自治会連合会

2026 防災訓練アンケート

防災訓練への参加お疲れさまです。
「災害への備えをみんなで取り組み考える」ためのアンケートにご協力をお願いし
ます。未知の災害に備えるため、みなさんの考えをお聞かせください。アンケート
の結果は、自治会連合会ホームページで公開予定です。

1 あなたがもしも ① 介護が必要 だったら、避難所に行く道中や
避難所に着いてからどのような問題や課題があると思いますか？
・歩行がむずかしい人は、どうすればいいのか
・介護用品は あるのか
・食事、お水に困るのか 食料はどのくらい持つのか
・トイレ

2 今日の防災訓練の取組みで、心に残ったことがあれば教えてください。
・AEDの使い方も 実際 体験したので 良かった。
・AED体験と、簡易トイレの体験が、おもしろい。
・消防車を初めて 乗ったので、よかった。
・避難所に 初めて 参加して、経験ができた。

3 あなたは、災害に備えてなにか準備をしていますか？
・非常リュックを用意している。

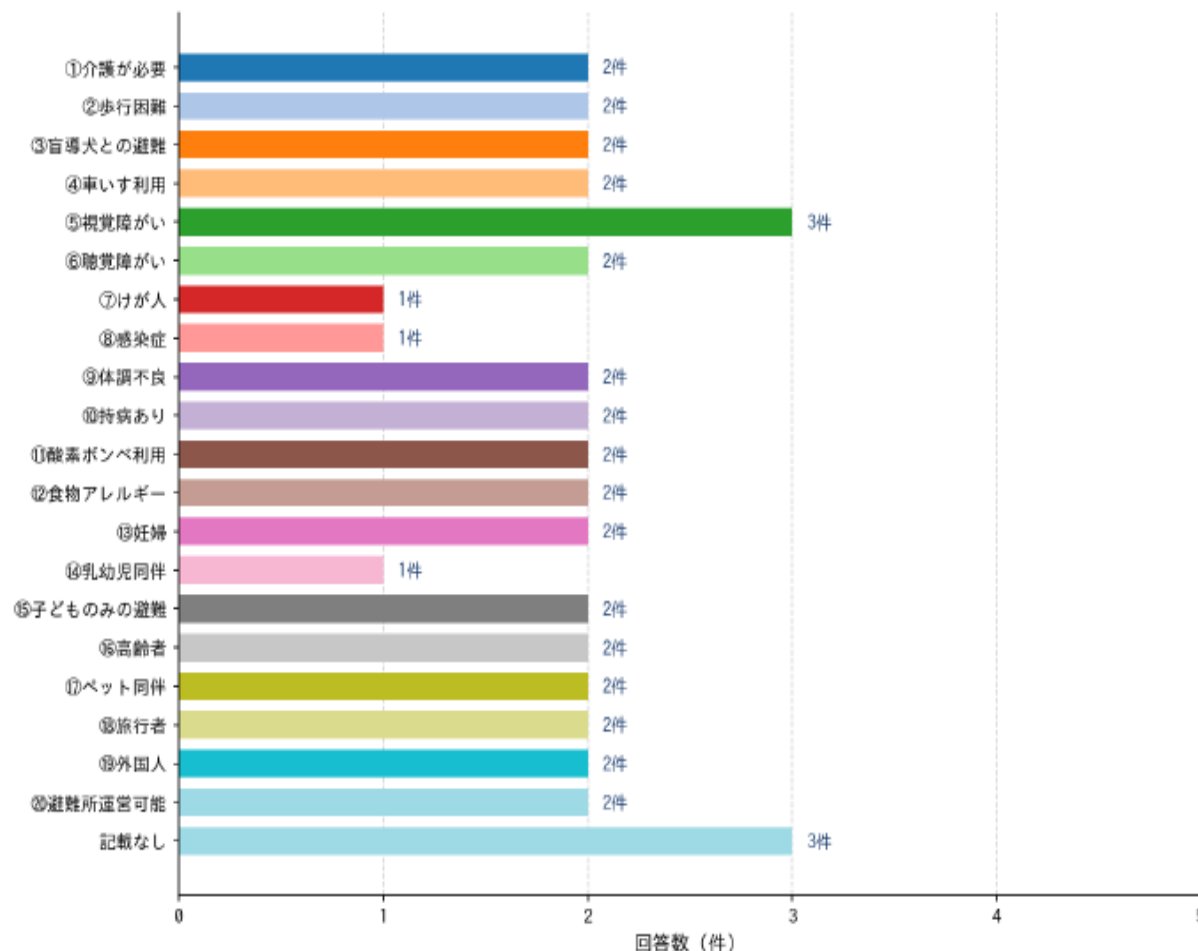
4 あなたは、災害が起きた時、避難所に避難したいと思っていますか？
一人では 心配なので、誰かと一緒に 避難 出来たらと思う。

We love 西京極！ 西京極自治会連合会

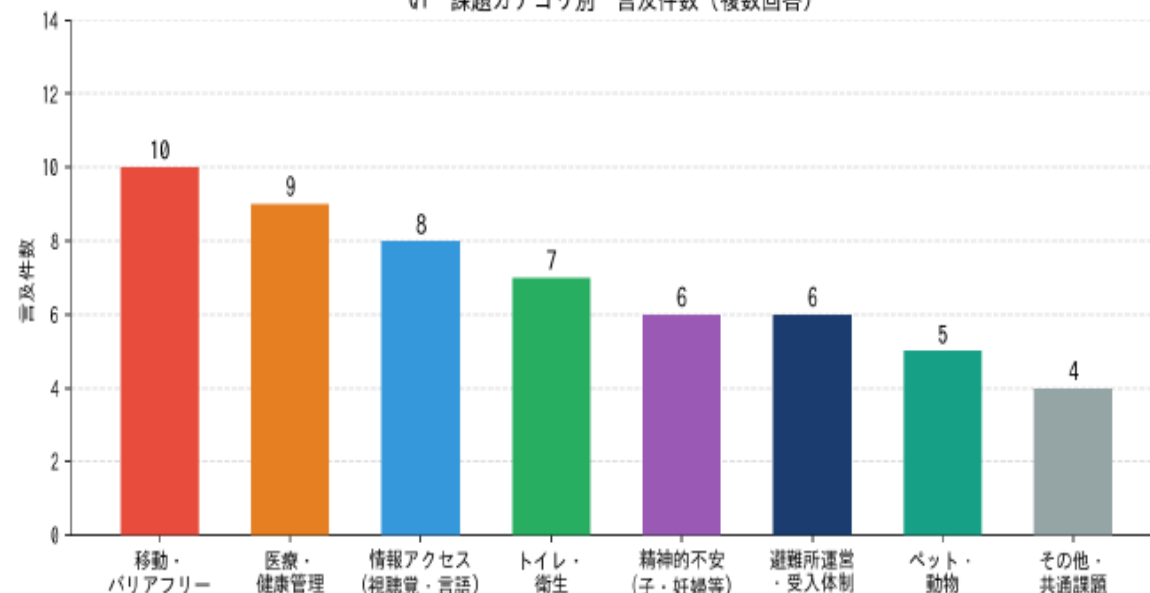
Q1 「もし〇〇だったら」 避難中・避難所での問題・課題は？

想定20種の状況カードを引いて回答 n=41件

Q1 想定された状況（カード）別 回答数



Q1 課題カテゴリ別 言及件数（複数回答）



課題カテゴリ分析 「移動・バリアフリー」（10件）が最多。次いで「医療・健康管理」（9件）、「情報アクセス困難」（8件）。視聴覚障がい・外国人・旅行者などインクルーシブ防災の課題が浮き彫りになった。

Q1 課題カテゴリ別 詳細一覧

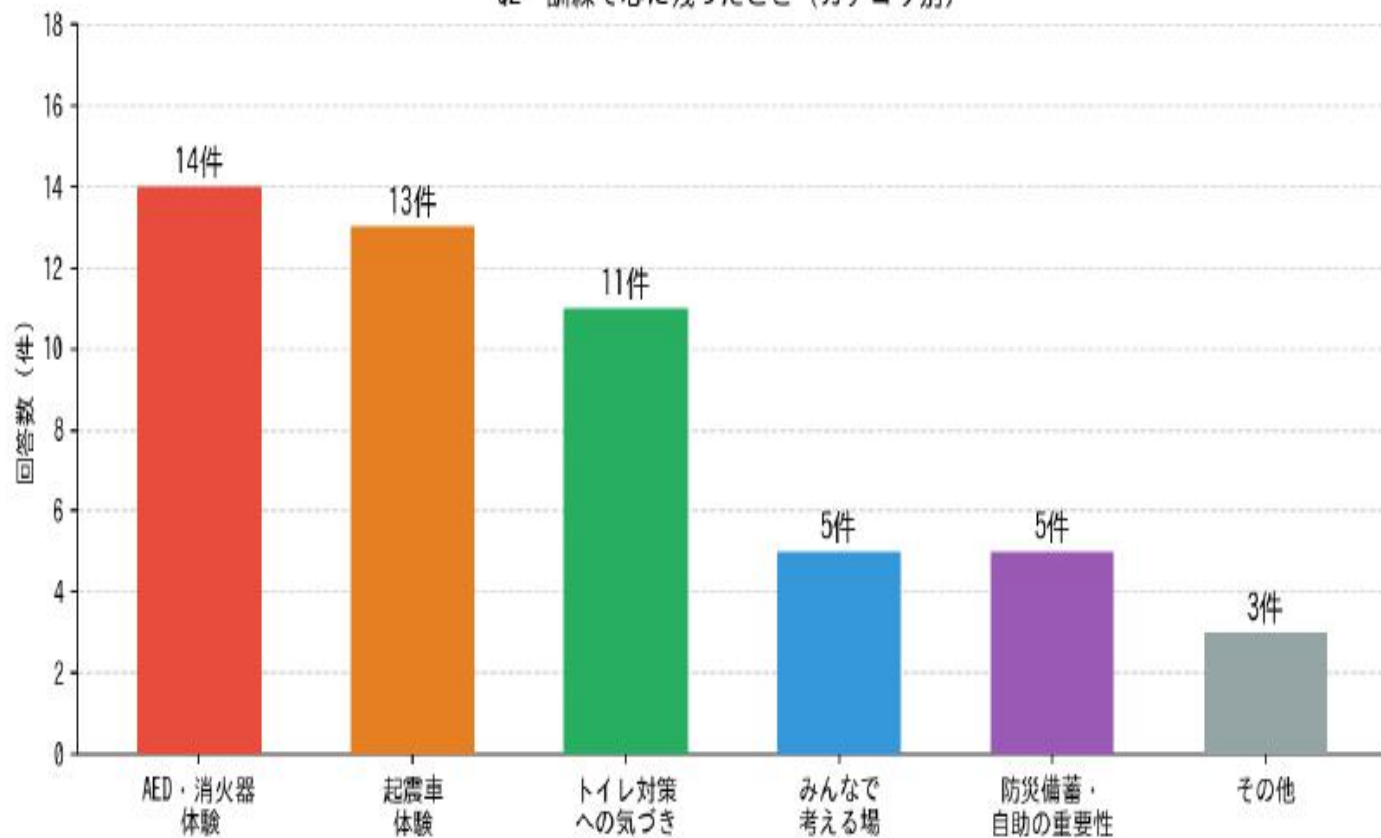
全回答の主な課題を8カテゴリに分類

課題カテゴリ	件数	代表的な意見（抜粋）	対応する主な状況
移動・バリアフリー	10件	道路の段差、車いす対応、バリアフリースイレの整備が必要	②歩行困難 ④車いす ⑥高齢者
医療・健康管理	9件	薬・医療ケア用品の確保、横になれるスペースの確保が不可欠	①介護 ⑦けが人 ⑨体調不良 ⑩持病
情報アクセス（視聴覚・言語）	8件	避難ルートが不明、掲示物から情報が得られない、言語バリア	⑤視覚障がい ⑥聴覚障がい ⑧旅行者 ⑨外国人
トイレ・衛生	7件	トイレ設備不足、清潔さの問題、遠慮による水がまん	⑤視覚障がい ⑧感染症 ⑦ペット
精神的不安（子・妊婦等）	6件	収容人数不足、周囲への気遣い、泣き声・においの問題	⑬妊婦 ⑭乳幼児 ⑮子どものみ
避難所運営・受入体制	6件	役割分担の認識不足、混雑・大混乱、物資・設備の不足	⑳避難所運営可能
ペット・動物	5件	ペット同伴拒否、動物の食料・トイレ・スペースの確保	③盲導犬 ⑦ペット同伴
その他・共通課題	4件	酸素ボンベ補給、アレルギー食料の確保、備え不足の自覚	⑪酸素ボンベ ⑫食物アレルギー

Q2 今日の防災訓練の取組みで、心に残ったことがあれば教えてください。

n=41件（自由記述・複数回答）

Q2 訓練で心に残ったこと（カテゴリ別）



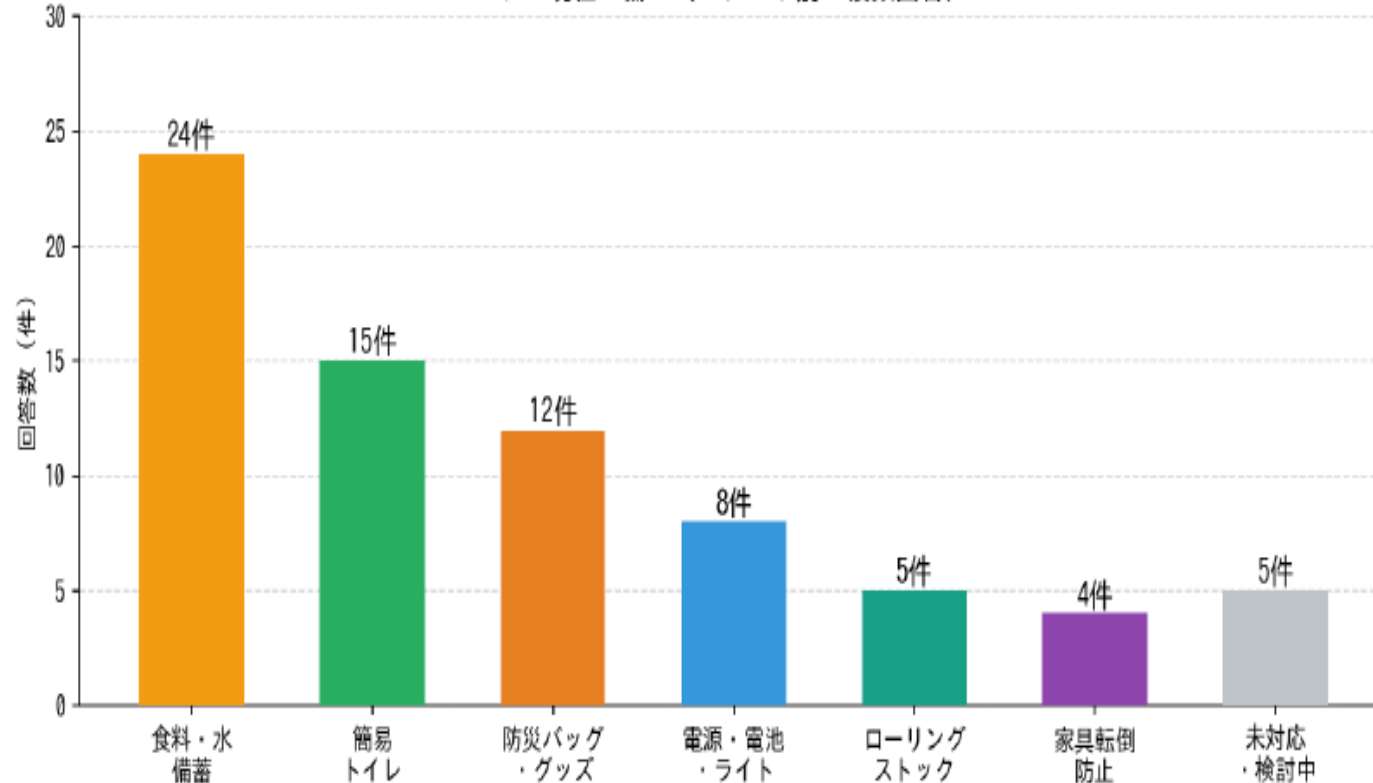
カテゴリ	件数	主な声
AED・消火器体験	14件	「使い方を初めて実際に見た」「思ったよりかんたん」
起震車体験	13件	「震度7は思ったより激しい揺れ」「6強も体験したい」
トイレ対策への気づき	11件	「外のマンホールトイレを初めて知った」「町内に周知を」
みんなで考える場	5件	「対策コーナーが実践的でわかりやすい」
防災備蓄・自助の重要性	5件	「自分で備えておく必要性を感じた」
その他	3件	AEDの設置場所周知、ペットボトル光拡散、等

考察 AED・消火器（14件）と起震車（13件）が上位2位。実体験型コンテンツへの評価が圧倒的に高い。トイレ対策（11件）も急増し、啓発効果が顕著に表れた。

Q3 あなたは、災害に備えてなにか準備をしていますか？

n=41件（自由記述・複数回答）

Q3 現在の備え（カテゴリ別・複数回答）



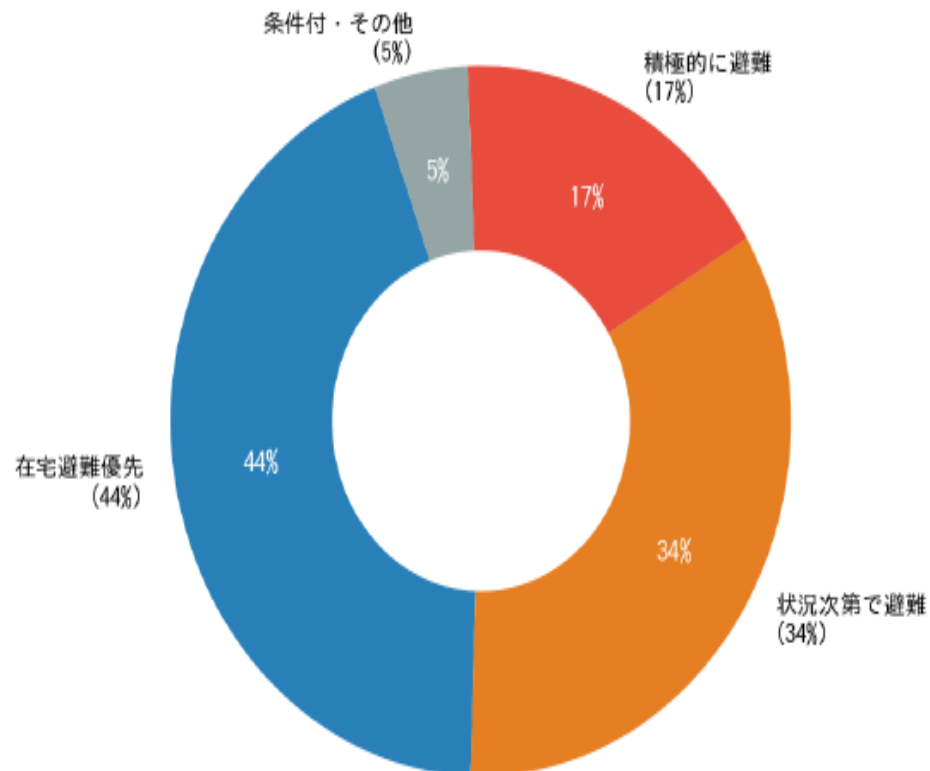
備えの種類	件数	主な内容
食料・水備蓄	24件	缶詰・レトルト・水のペットボトル・カップ麺など
簡易トイレ	15件	簡易トイレ・凝固剤・ペットシート・ポンチョ活用
防災バッグ・グッズ	12件	防災リュック・防災グッズ入りカバン
電源・電池・ライト	8件	懐中電灯・電池・ポータブル電源・太陽光パネル
ローリングストック	5件	日常食品を多めに買い回して消費する備蓄方式
家具転倒防止	4件	家具の転倒防止金具・家電の固定
未対応・検討中	5件	「まだ何もしていない」「水くらいしか用意できていない」

考察 食料・水備蓄（24件）が最多で基本対策は浸透。簡易トイレ（15件）は訓練後に関心が急上昇。「まだ何もしていない」という声もあり、備蓄の質と量に個人差が大きい。

Q4 災害が起きた時、避難所に避難したいと思っていますか？

n=41件（自由記述）

Q4 避難所への避難意向（n=41）



回答区分	件数	主な理由・背景
在宅避難優先	18件（44%）	マンション居住・ペット・感染症リスク・自宅が比較的安全
状況次第で避難	14件（34%）	家屋損壊・危険感知時は避難所へ。平常時は自宅で過ごしたい
積極的に避難したい	7件（17%）	一人では不安・必要時は必ず避難・公園や学校に行きたい
条件付・その他	2件（5%）	避難所の設備や体制次第で判断したい
合計	41件	在宅志向計（在宅＋状況次第）＝ 32件 / 78%

考察 在宅志向が78%（32件）と非常に高い。背景には「プライバシーへの不安」「ペット連れで困難」「マンション在住」がある。在宅避難を安全に行うための備蓄強化と、避難所の受け入れ体制の整備が両輪が必要。

傾向分析・今後の提案・ビジョン

5つの傾向と3ステップのビジョン

傾向1 実体験型が 学習効果最大化	AED・消火器・起震車への評価がQ2の過半数。「思ったよりかんたん」という声は実体験の効果。次回は震度6強・心肺蘇生実技追加など難易度アップを検討。
傾向2 在宅避難志向78% 自助力底上げが急務	在宅志向の背景はプライバシー不安・ペット・マンション。「食料・水・トイレ3点セット」のローリングストック形式での備蓄ガイド配布が有効。
傾向3 トイレ問題への 関心が急速上昇	Q3簡易トイレ備蓄が15件と急増し、啓発効果が数字に表れている。次回は実物展示・体験コーナーの設置を重点事項とする。
傾向4 多様なニーズへの 対応が構造的課題	外国人の言語バリア・視聴覚障がい者の情報アクセス困難・酸素ボンベ補給問題。多言語掲示・音声案内・視覚サポートの整備が急務。
傾向5 AED設置場所認知が 次の課題	「AEDの使い方よりもどこにあるかが課題」という鋭い指摘。地域内AEDマップ作成・周知とスマートフォン検索方法案内を次回訓練に組み込む。
ビジョン 西京極を防災文化の 地域へ	【Step1】個人の備えを整える（食料・水・トイレ3点普及） 【Step2】地域でつながる（AEDマップ・要配慮者リスト・多言語パンフ） 【Step3】毎年更新する（想定状況と難易度を変えて継続。防災文化として根付かせる）

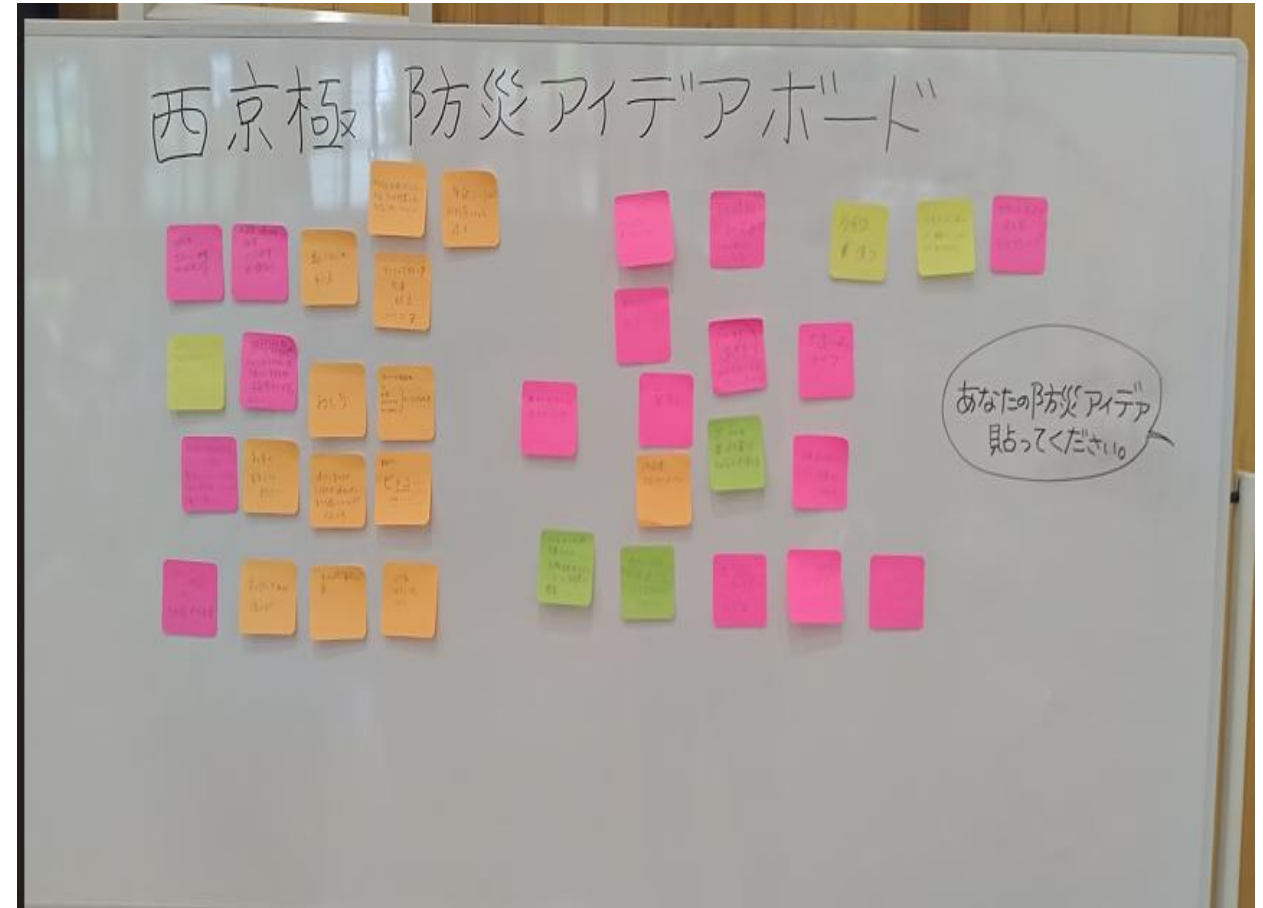
(6) アンケート解析結果② (みんなで取り組み考えるコーナー)

①食品知識と対策

②火元・電源知識

③災害時必需品

④トイレ対策



西京極 防災アイデアボード

参加者意見 集計レポート

西京極自治会連合会 「みんなで取り組み考えるコーナー」 2026年6月実施

44

総アイデア数

4

カテゴリ
分類数

15

食品関連
(最多)

17

必需品関連

8

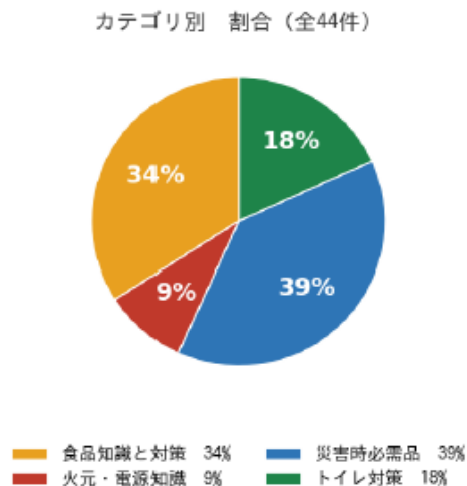
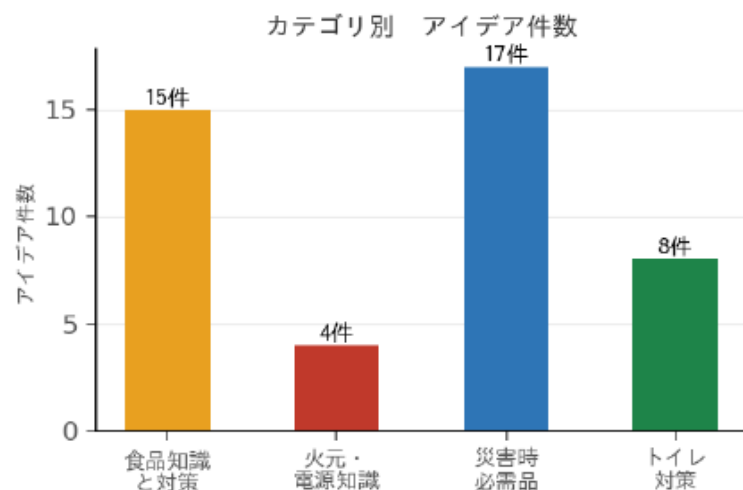
トイレ関連

【調査概要】 実施場所：西京極防災訓練会場 収集方法：ポスティング式アイデアボード 収集件数：44件 カテゴリ数：4

【主なポイント】

- ①「災害時必需品」（17件）が最多
- ②「食品知識と対策」（15件）でローリングストック・保存食への関心が高い
- ③「トイレ対策」（8件）は簡易トイレの普及率向上が急務
- ④子育て世帯・ペット同伴者など多様なニーズが表出

▶ カテゴリ別 アイデア件数の全体像



カテゴリ	件数	割合	主なキーワード
食品知識と対策	15件	34%	ローリングストック・保存食 乳酸菌・家庭菜園・子ども向け
火元・電源知識	4件	9%	ポータブル電源・うちわ・カセットガスコンロ
災害時必需品	17件	39%	情報収集・衛生品・移動器具 モバイルバッテリー・コミュニティ連携
トイレ対策	8件	18%	簡易トイレ・ペットシート・ポンチョ・100均活用
合計	44件	100%	

▶ カテゴリ別 詳細内訳グラフ

【食品知識と対策】サブカテゴリ内訳



【災害時必需品】サブカテゴリ内訳



▶ 全アイデア一覧（原文テキスト）

食品知識と対策（15件）	火元・電源知識（4件）	災害時必需品（17件）	トイレ対策（8件）
塩こうじの粉末	ポータブル電源もってます	TV・情報・くまのすず（笛の代わり）	夏の高温倉庫に食品保管可能？水は？
ローリングストック（冷凍柿豆）	ウチワを使う	薬など	ベットのトイレ・ベットシートが活用できる
ヤクルト	うちわが有れば電気いらない	100円ビニール袋は必要	ポンチョは濃い色→着替えにも使える
家庭菜園・お野菜を作る	カセットガスで使えるガスストーブ	おむつ・トイレットペーパー・くつ	100均の防災対応商品の提案を
おもち		水不足時は液体ハミガキが便利	おから→水を吸わせてトイレにも使える
フルーツ缶詰/水/お茶/カップめん		みんなで考える訓練がよかった	身近なものでトイレ対応が教訓に
ヨーグルト		COMOパン→3か月もちます	各家庭の簡易トイレ所有率はほぼ皆無
タケノコ冷凍・カット野菜（ネギ、キャベツ）		無印チョコようかん→4年半もちます	災害は自分で考え対応することが大事
備蓄品を子どもが食べるか不安		避難所泊まり体験（年1回）	
ビスコをストック		普段から町内でコミュニケーションを	
子どもの好きなおやつ		割れガラスの上を歩けるスリッパ	
保存食・カロリーメイト		何でも切れるノコギリ	
タンパク質系・魚缶詰		バンドエイド・トイレットペーパー・痛み止め	
ツナ缶・やきとり缶・牛乳		タブレット・塩含チャージ	
乳酸菌の食べ物		用途いっぱいナイフ	
		モバイルバッテリー・ラジコ	
		ラップ	

傾向① 日常備蓄への 高い関心	ローリングストック・缶詰・保存食など日常使いできる食品備蓄への提案が多数。特に「子どもが食べてくれるか」という子育て世帯ならではのリアルな不安も表出。【提案】子ども向け備蓄リストを作成・回覧板で周知することで実効性を高める。
傾向② 必需品の 実用性重視	「くまのすず（笛）」「液体ハミガキ」「おから活用」など、知恵とコスパを重視したアイデアが目立つ。既存のものを多目的に活用する発想が豊か。【提案】100均防災グッズ活用ガイドを作成・訓練時に配布することを検討。
傾向③ トイレ備蓄の 啓発効果あり	「各家庭の簡易トイレ所有率はほぼ皆無」という現状認識が共有され、「ペットのトイレシート活用」「おから活用」など代替手段への知恵も出た。【提案】簡易トイレの実物展示・使用体験コーナーを次回訓練に設置。
傾向④ 電源・エネルギー 対策は課題	火元・電源知識は4件にとどまり、他カテゴリと比べ関心・知識が低い。「うちわで代替」などアナログ対応の意見が中心で、ポータブル電源の認知は限定的。【提案】ポータブル電源・カセットコンロ・太陽光パネルの実演コーナーを設ける。
総括・ 次回ビジョン	参加者の意見は具体的かつ実践的で、地域の防災意識の高さが伺える。次回は①子育て世帯向け備蓄ワークショップ、②簡易トイレ体験コーナー、③100均グッズ活用術展示、④電源対策実演の4テーマを重点的に実施し、「知って・やってみて・備える」文化を地域全体に根付かせることが次のステップ。

(7) 本報告書に関するお問い合わせ先

他学区の皆様、防災関連の各種団体の皆様との意見交流の場をぜひ持たせてください。

- ・西京極自治会連合会ホームページより

<https://nishikyogoku-jichiren.com/>

(問い合わせ方法)

ホームページ内「お問い合わせ」より



- ・問い合わせ先アドレス(西京極自治会連合会アドレス)

nishikyogoku.jichiren@gmail.com